



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成20年1月30日

上場会社名 ソマール株式会社 上場取引所 東証第二部  
 コード番号 8152 URL <http://www.somar.co.jp>  
 代表者 代表取締役社長 中町 昭彦 TEL (03) 3542-2152  
 問合せ先責任者 F&A部長 今井原 俊彦

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成20年3月期第3四半期の業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期 第3四半期	28,314	1.1	875	△0.8	843	△2.7	866	9.2
19年3月期 第3四半期	28,018	△0.8	883	△22.8	866	△25.4	793	△13.8
19年3月期	36,798	—	1,152	—	1,124	—	1,011	—

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期 第3四半期	44.47	—
19年3月期 第3四半期	40.69	—
19年3月期	51.89	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期 第3四半期	31,300	17,392	55.6	892.73
19年3月期 第3四半期	31,094	16,961	54.6	869.89
19年3月期	30,648	17,121	55.9	878.26

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期 第3四半期	1,208	468	△200	3,801
19年3月期 第3四半期	1,909	△2,102	1,025	2,500
19年3月期	1,752	△2,111	1,012	2,321

## 2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
19 年 3 月期	5 00	5 00	10 00
20 年 3 月期(実績)	5 00	—	10 00
20 年 3 月期(予想)	—	5 00	

## 3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)【参考】

当第 3 四半期の業績は予定通り推移しており、平成 19 年 5 月 11 日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

## 4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有・無
- (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有・無

〔(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期のわが国経済は、中国や新興国での高い成長率に支えられ、米国経済にかげりが広がる中で輸出は堅調さを保ち、企業の設備投資の継続や雇用情勢の改善もあって、先行き不透明な中にも景気は底堅く推移しました。

しかし一方では、米国でのサブプライム問題の影響がグローバル規模で顕在化し始め、我が国においても原油価格の高騰等と相まって、景気の先行きに不透明感と懸念の度合いが一層強まってきました。

このような情勢下、当社は引き続き高付加価値製品に関連したビジネスへ経営資源を積極的に投入し、強靱な経営基盤の確立とビジネスの拡大に努めてまいりました。特に当社が得意とする電子部品業界や自動車部品関連業界向けには積極的なマーケティングや新製品の投入・販売活動を行い、さらに中国・アジア市場を中心としたグローバル展開実施への準備作業も行ってまいりました。

その結果、機能性粘着フィルムや光学遮光フィルム等のコーティング製品、電気絶縁用高機能樹脂製品、フレキシブル回路基板用ベース材加工品等の販売が伸長しましたが、一部の製・商品では市場における競争激化や需要減による落ち込みもあり、売上高は 283 億 1 千 4 百万円（前年同期比 1.1%増）の微増に留まりました。利益面では、原材料やエネルギー等の価格上昇による原価負担の増加がありましたが、引き続き生産性の向上やコスト削減等の諸施策を鋭意実施した結果、営業利益は 8 億 7 千 5 百万円（前年同期比 0.8%減）、経常利益は 8 億 4 千 3 百万円（前年同期比 2.7%減）、第 3 四半期純利益は 8 億 6 千 6 百万円（前年同期比 9.2%増）となりました。

次に、営業の状況についてご説明申し上げます。

## 〔製造販売〕

コーティング製品 高機能フィルムは、フレキシブル回路基板や電子部品向け工程用フィルム及びデジタルカメラ等への光学遮光フィルムが積極的な顧客ニーズの開発と営業活動により増収となりました。一方画像用フィルムは、設計・複写業界向けで引き続く公共投資の削減やデジタル化への技術トレンドの影響で減収となりました。その結果、コーティング製品全体では売上高は 25 億 9 千 2 百万円（前年同期比 3.2%減）と微減になりました。

高機能樹脂製品 電気絶縁用樹脂は、自動車電装品向けや電子部品向けで需要が堅調に推移したことに加え、用途開発の成果も進み増収となりました。液晶関連ビジネスは、国内顧客での本格的な立ち上がりで一部製品の拡販につながったアイテムもありましたが、総じて海外市場での価格下落の影響を受け若干の減収となりました。その結果、高機能樹脂製品全体では売上高は 30 億 3 百万円（前年同期比 4.8%増）に伸長しました。

ファインケミカルズ 販売先の製紙業界が原油価格の高騰などを背景に厳しいコスト削減をしている中で、当業界向け歩留剤・凝結剤は、顧客ニーズに応える新規開発製品やサービスの提供に鋭意努力し増収となりました。しかし、工業用殺菌剤は、新規開発製品の市場への浸透が遅れ、従来製品の減少をカバーするには至りませんでした。その結果、ファインケミカルズ全体では売上高は 11 億 1 千 3 百万円（前年同期比 0.9%減）と微減になりました。

その他 フレキシブル回路基板用ベース材加工品は、一部の海外エンドユーザー向け特殊用途での需要が回復して堅調に推移していることに加え、これに対応した積極的な営業活動を行った結果、売上高は 7 億 4 千 8 百万円（前年同期比 27.0%増）と大きく増加しました。

## [仕入販売]

電子材料	フレキシブル回路基板材料は、グローバル携帯電話、携帯音楽プレーヤー、ハードディスク用途で需要が回復基調となった中で、当社主要顧客においては海外エンドユーザー向け需要が依然として低迷しているため、新規高機能フィルムの市場への新たな導入という開発成果はあったものの、前年同期並みとなりました。また、薄型テレビ向け電子材料は、国内での在庫調整が長引いていることもあって減収となりました。リジッド基板用材料は、市場での厳しい競争の中ほぼ前年同期並みで推移しました。電気絶縁用アラミッド材料は、需要に対応した材料供給能力が不足している状況下で、きめ細かな営業努力により若干の増収となりました。その結果、電子材料全体では売上高は 84 億 9 百万円（前年同期比 0.1%増）と前年同期並みに留まりました。
機能性樹脂	熱硬化性樹脂は、家電、OA機器、自動車部品等の回路基板や半導体パッケージ用基板の用途が好調に推移し、増収となりました。また、熱可塑性樹脂は、冷蔵庫等家電製品の高機能化に伴うエンブラ材料のニーズが高まり営業努力と相まって堅調に推移し、増収となりました。その結果、機能性樹脂全体では売上高は 48 億 2 千 8 百万円（前年同期比 5.1%増）と増収になりました。
製紙用化学品	紙塗工用バインダーは、化学品粗原料の価格高騰に対応した販売価格への転嫁が市場に浸透してきたものの、それに伴う主要顧客でのシェアダウンもあったため微減となりました。その他の製紙用化学品は、一部に商流変更に伴う大きな落ち込みがありましたが、新規商権獲得による販売増や既存アイテムの拡販にも努め、微増となりました。その結果、製紙用化学品全体では売上高は 65 億 6 千 7 百万円（前年同期比 0.1%増）と前年同期並みになりました。
その他	食品材料は、主力の加工食品向け増粘安定剤が主要顧客の一部でシェアダウンがあり、減収となりました。食品材料以外のその他では、ほぼ前年同期並みとなりました。その結果、その他全体では売上高は 10 億 5 千万円（前年同期比 12.7%減）と減収になりました。

## 2. 財務状態に関する定性的情報

### (1) 資産・負債及び純資産の状況

当第 3 四半期末の資産は、前事業年度末と比較して 6 億 5 千 1 百万円増加しました。これは主に、関係会社株式の売却や投資有価証券の償還等により、投資その他の資産が 24 億 8 百万円減少したものの、現金及び預金が 14 億 7 千 9 百万円増加したこと及びその他の流動資産が 18 億 2 千 3 百万円増加したことによるものです。

また、負債については、前事業年度末と比較して 3 億 8 千 1 百万円増加しました。これは主に、未払法人税等が 3 億 4 千 2 百万円、賞与引当金が 9 千 1 百万円減少しましたが、買掛金が 11 億 5 千 4 百万円増加したことによるものです。

純資産については、前事業年度末と比較して 2 億 7 千万円増加しました。これは主に、投資有価証券の償還等により、その他有価証券評価差額金が 3 億 9 千 4 百万円減少したものの、利益計上により利益剰余金が 6 億 7 千 1 百万円増加したことによるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して 14 億 7 千 9 百万円増加して、38 億 1 百万円となりました。

なお、各項目の増減は以下のとおりです。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、12 億 8 百万円の資金増加となりました。その主な要因は、法人税等の支払により資金が 7 億 7 千 6 百万円減少したものの、税引前四半期純利益を 13 億 4 千 9 百万円計上したこと、仕入債務が 11 億 2 千万円増加したことによるものです。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、4 億 6 千 8 百万円の資金増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得に 2 億 5 千 3 百万円、関係会社株式の取得に 3 億 5 千 6 百万円を支出したものの、投資有価証券の償還により 7 億 6 千 3 百万円の資金増加があったことによるものです。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、2 億円の資金減少となりました。その主な要因は、配当金の支払として 1 億 9 千 4 百万円を支出したことによるものです。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第 3 四半期における業績は、概ね計画通りに推移しており、業績予想に修正はありません。

## 4. その他

会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、簡便な方法により計算しております。

5. 四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成 19 年 3 月期末)
		金 額	金 額	金額	増減率	金 額
(資産の部)					%	
I. 流動資産						
現金及び預金		2,500	3,801	1,300		2,321
受取手形		458	330	△ 127		359
売掛金		12,591	13,180	589		12,826
有価証券		393	255	△ 138		444
たな卸資産		2,764	2,563	△ 200		2,669
繰延税金資産		28	75	47		65
その他		486	1,941	1,455		118
貸倒引当金		△ 19	△ 10	8		△ 17
流動資産合計		19,204	22,138	2,934	15.3	18,788
II. 固定資産						
有形固定資産						
建物		2,040	1,892	△ 148		2,019
機械及び装置		921	782	△ 138		932
土地		239	239	—		239
その他		415	383	△ 31		329
有形固定資産合計		3,616	3,297	△ 318	△ 8.8	3,520
無形固定資産						
ソフトウェア		17	340	323		21
ソフトウェア仮勘定		199	—	△ 199		386
その他		4	3	△ 1		4
無形固定資産合計		221	344	122	55.0	411
投資その他の資産						
投資有価証券		4,290	3,389	△ 901		4,141
関係会社株式		2,095	413	△1,682		2,095
差入保証金		1,577	1,640	62		1,603
その他		154	121	△ 32		149
貸倒引当金		△ 66	△ 44	21		△ 62
投資その他の資産合計		8,051	5,519	△2,531	△31.4	7,928
固定資産合計		11,890	9,161	△2,728	△22.9	11,860
資産合計		31,094	31,300	206	0.7	30,648

(単位：百万円)

科 目	期 別	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成 19 年 3 月期末)
		金 額	金 額	金額	増減率	金 額
(負債の部)					%	
I. 流動負債						
支 払 手 形		101	88	△ 13		122
買 掛 金		8,128	8,648	519		7,493
短 期 借 入 金		—	150	150		—
一年以内返済予定長期借入金		150	950	800		550
未 払 金		749	587	△ 161		670
未 払 法 人 税 等		500	195	△ 305		538
賞 与 引 当 金		101	101	0		193
設 備 関 係 支 払 手 形		0	—	△ 0		—
そ の 他		52	55	2		25
流 動 負 債 合 計		9,783	10,775	992	10.1	9,593
II. 固定負債						
長 期 借 入 金		3,050	2,100	△ 950		2,650
退 職 給 付 引 当 金		593	482	△ 110		567
役 員 退 職 慰 労 引 当 金		74	83	9		74
繰 延 税 金 負 債		622	456	△ 165		632
そ の 他		9	9	0		9
固 定 負 債 合 計		4,349	3,132	△1,216	△ 28.0	3,934
負 債 合 計		14,133	13,908	△ 224	△ 1.6	13,527
(純資産の部)						
I. 株主資本						
資 本 金		5,115	5,115	—		5,115
資本剰余金						
資 本 準 備 金		4,886	4,886	—		4,886
利益剰余金						
1. 利益準備金		419	419	—		419
2. その他利益剰余金						
(1) 別途積立金		2,100	2,100	—		2,100
(2) 繰越利益剰余金		2,894	3,784	890		3,113
利 益 剰 余 金 合 計		5,414	6,304	890		5,632
自 己 株 式		△ 30	△ 38	△ 7		△ 32
株 主 資 本 合 計		15,385	16,267	882	5.7	15,602
II. 評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金		1,575	1,123	△ 452		1,518
繰延ヘッジ損益		0	0	0		0
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		1,576	1,124	△ 451	△ 28.7	1,519
純 資 産 合 計		16,961	17,392	430	2.5	17,121
負 債 ・ 純 資 産 合 計		31,094	31,300	206	0.7	30,648

## (2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当 四 半 期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	増 減		(参考)前期 (平成 19 年 3 月期)
				金 額	増減率	金 額
I. 売上高		28,018	28,314	296	1.1	36,798
II. 売上原価		24,785	25,118	333	1.3	32,554
売上総利益		3,232	3,196	△ 36	△ 1.1	4,244
III. 販売費及び一般管理費		2,349	2,320	△ 29	△ 1.2	3,091
営業利益		883	875	△ 7	△ 0.8	1,152
IV. 営業外収益						
受取利息		0	3	2		2
受取配当金		22	30	7		22
その他		14	10	△ 4		26
計		37	43	5	15.8	52
V. 営業外費用						
支払利息		25	43	18		39
売上債権売却損		18	19	1		23
その他		10	13	2		18
計		54	76	22	41.2	80
経常利益		866	843	△ 23	△ 2.7	1,124
VI. 特別利益						
貸倒引当金戻入額		9	9	△ 0		12
投資有価証券償還益		239	403	164		239
関係会社株式売却益		—	98	98		—
計		248	511	263	105.9	251
VII. 特別損失						
固定資産売却損		4	0	△ 4		4
固定資産除却損		19	5	△ 14		21
その他		0	—	△ 0		—
計		25	5	△ 20	△ 79.0	26
税引前四半期(当期)純利益		1,089	1,349	259	23.8	1,350
法人税等		296	483	186	63.0	338
四半期(当期)純利益		793	866	73	9.2	1,011

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当 四 半 期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考)前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益	1,089	1,349	1,350
減価償却費	374	464	506
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△ 9	△ 9	△ 12
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 86	△ 84	△ 112
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	△ 49	8	△ 49
受取利息及び受取配当金	△ 0	△ 33	△ 25
投資有価証券償還益	△ 239	△ 403	△ 239
関係会社株式売却益	—	△ 98	—
支払利息	25	43	39
固定資産売却損	4	0	4
固定資産除却損	19	5	21
売上債権の増減額(増加:△)	△ 68	△ 305	△ 205
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 121	105	△ 26
仕入債務の増減額(減少:△)	988	1,120	374
未払消費税等の増減額(減少:△)	36	△ 26	45
その他	△ 10	△ 141	118
<b>小 計</b>	<b>1,952</b>	<b>1,996</b>	<b>1,788</b>
利息及び配当金の受取額	0	33	25
利息の支払額	△ 21	△ 43	△ 37
法人税等の支払額	△ 22	△ 776	△ 23
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,909</b>	<b>1,208</b>	<b>1,752</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 323	△ 253	△ 499
有形固定資産の売却による収入	3	—	3
有形固定資産の除却による支出	△ 6	△ 1	△ 6
無形固定資産の取得による支出	△ 144	△ 12	△ 335
投資有価証券の償還による収入	—	763	351
投資有価証券の取得による支出	△ 10	△ 39	△ 10
関係会社株式の取得による支出	△ 1,616	△ 356	△ 1,616
関係会社株式の売却による収入	—	338	—
その他	△ 5	29	1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,102</b>	<b>468</b>	<b>△ 2,111</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金による収入	—	150	—
長期借入金の返済による支出	△ 387	△ 150	△ 387
長期借入れによる収入	1,600	—	1,600
自己株式取得による支出	△ 3	△ 5	△ 5
配当金の支払額	△ 183	△ 194	△ 194
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,025</b>	<b>△ 200</b>	<b>1,012</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>△ 0</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>832</b>	<b>1,479</b>	<b>653</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>1,668</b>	<b>2,321</b>	<b>1,668</b>
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>2,500</b>	<b>3,801</b>	<b>2,321</b>

## ・比較品目別売上明細表

(単位：百万円)

品 目		前年同四半期 〔平成 19 年 3 月期〕 第 3 四半期		当 四 半 期 〔平成 20 年 3 月期〕 第 3 四半期		(参考)前期 (平成 19 年 3 月期)	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
製 造 販 売			%		%		%
	コーティング製品	2,678	9.6	2,592	9.2	3,543	9.6
	高機能樹脂製品	2,866	10.2	3,003	10.6	3,775	10.3
	ファインケミカルズ	1,123	4.0	1,113	3.9	1,492	4.1
	その他	589	2.1	748	2.6	710	1.9
	製造販売 計	7,258	25.9	7,458	26.3	9,523	25.9
仕 入 販 売	電子材料	8,401	30.0	8,409	29.7	10,863	29.5
	機能性樹脂	4,593	16.4	4,828	17.1	6,072	16.5
	製紙用化学品	6,560	23.4	6,567	23.2	8,751	23.8
	その他	1,203	4.3	1,050	3.7	1,588	4.3
		仕入販売 計	20,759	74.1	20,856	73.7	27,275
合 計		28,018	100.0	28,314	100.0	36,798	100.0